



ひまわり



進んで学ぶ子 思いやりのある子 たくましい子

第291号

令和7年10月1日

10月 折り返しを新たなスタートに

早いもので、令和7年度も折り返し地点を迎えました。個人面談には、ご多用の中ご来校いただき頂きありがとうございます。学校では、前期の子供たちの頑張りの成長について「あゆみ」の所見ではなく、保護者の皆様と直接対話をしながらお伝えし、新たなスタートを切るための節目としたいと考えています。現実には、「あゆみ」の数値や〇の数だけに目が向き、一喜一憂して終わってしまうことが多いと思いますが、保護者の皆様と担任が共通理解を図り、子供たちの気持ちが切り替わるチャンスととらえ、ご家庭での温かい言葉かけをこれからもよろしくお願いします。

読書の秋・・・親子読書から

10月27日(月)～11月9日(日)は秋の読書週間です！！

「パンどろぼう VS にせパンどろぼう」作:柴田ケイコ

おたがい好きなパンを言いあいながら本をよむと気持ちよかったです。(児童)

なかなか読書をする気が進まなかったのですが、みんなで見に行った「パンどろぼう展」で買った本を読もう！と声をかけると楽しみながら読めました。お互いに好きなパンを言いながら読みました。(保護者)



「タヌキの教室」作:山下明生

夜の小学校でタヌキが勉強しているところがびっくりしました。戦争の話も読めてよかったです。(児童)
1冊の本を二人で順番に読んでいきました。戦争時代の話も含まれていて少しでも戦争のことが一緒に読めて良かったです。(保護者)

「蚊も時計を持っている」作:千葉喜彦

蚊の幼虫はボウフラという名前だと分かったし、ボウフラもさなぎになり成虫になることも分かりました。それに生き物はみんな時計を持っていることが分かりました。(児童)

「モチモチの木」作:斎藤隆介

息子が学校から借りて帰った本を読みました。子供たち3人の音読を思い出しながら読み進めました。静かに本を読む時間。心が落ち着き、リラックスできました。(保護者)

「宇宙人のいる教室」作:さとうまきこ 絵:勝川克志

この本は転校生のレオナが宇宙人じゃないかとみんながうたがって過ごした物語でした。ちがう人とすごしていろいろな考え方を理解することで友達がたくさんできたんだと思いました。(児童)
この本は、ちょっと変わった転校生がやってきたことでクラスのみんなの考え方や関係が少しずつ変化していく物語でした。一緒に読んでみて違う意見や考え方を理解して受け入れる大切さなどを子供と話しました。(保護者)

お休みの日は、アニメ、ゲームや動画視聴の時間が増えていますが、お家の方と話をしながら本を読む素晴らしい文化が君田にはあります。言葉や文章から心情や情景を想像して楽しみ、語り合う中でものの見方や考え方を深く広げていく価値ある取組を大切にしていきたいと思います。

野外活動・社会見学にご協力ありがとうございました



雨天延期となりましたが、5・6年生が作木でカヌー体験をしました。インストラクターの丁寧な指導のおかげで短時間のうちにパドルの漕ぎ方をマスターしました。一人ずつ滑るように沖へ漕ぎ出し、自在に操作しながらおよそ1時間、船上で江の川の大自然を楽しみました。



2・3・4年生は福山市立動物園でまじかでライオンやトラ、キリン、シマウマ・・・とたくさんの動物を見学しました。中でも、日本でここしか見られないボルネオ象の「ふくちゃん」は印象に残りました。おいしいお弁当の用意、ありがとうございました。



10月の行事予定

日	曜	行 事 予 定	一斉下校	日	曜	行 事 予 定	一斉下校
1	水	P 街頭指導 個人懇談(13:30~16:45)	13:40 臨時バス	16	木	マラソンチャレンジ③④ 職員研修	14:30 臨時バス
2	木	小中合同研修会	13:40 臨時バス	17	金	P 街 頭 指 導 神 楽 ク ラ ブ ⑥	15:20
3	金	委員会⑥	15:20	18	土	週休日	
4	土	週休日		19	日	週休日	
5	日	週休日		20	月		15:20
6	月	命の授業⑤(2・3・4年)	15:20	21	火		14:30 臨時バス
7	火	職員研修	14:30 臨時バス	22	水		15:20
8	水	民生委員授業参観	15:20	23	木	リハーサル③	14:30 臨時バス
9	木	歯科健診 授業研究(5・6年)	14:30 臨時バス	24	金	スクールカウンセラー来校日(午前)	15:20
10	金	命の授業①②(5・6年) 学校運営協議会(13:30)	15:20	25	土	週休日	
11	土	週休日 P写生大会審査		26	日	あったか村フェスティバル 読書祭り(登校日)	11:30
12	日	週休日		27	月	振替休業日	
13	月	スポーツの日		28	火	諸費口座振替日	14:30 臨時バス
14	火	体重測定	14:30 臨時バス	29	水		15:20
15	水	読み語り朝会(5・6年) 芋掘り①	15:20	30	木	マラソンチャレンジ予備日 職員研修	14:30 臨時バス
				31	金	P 街頭指導 月末読書 メディアコントロールディ	15:20

9月のピックアップ

5・6年生が総合的な学習の時間に行っているコメコメ大作戦の一環で稲刈りをした10束から採れる米の量を確認し、比較しました。



民生委員の皆様今年もおいしいすいかをごちそうさまでした！



有機圃場で収穫した米と慣行圃場で収穫した米の両方を試食しました。君田産の新米のおいしさを実感。君田のように、農家の皆さんの管理のもと、ずっと変わらず、土と水に恵まれた田んぼが広がっている地域は珍しいそうです。今後、米の販売に向けてPR方法を考えていきます。

今年もあったか村フェスティバルで行う読書祭りで披露する七本松太鼓の指導に藤原さんが駆けつけて下さいました。バチさばき、音のメリハリ、構え方について実演しながら、一人一人に指導してくださっています。

☆11月の主な行事予定☆

- 5日(水)祖父母・保護者学級
- 10日(月)スクールカウンセラー
来校日(AM)
- 14日(木)コメコメ大作戦
5・6年販売体験
5・6年弁当持参
- 20日(木)市主催職員研修会
- 21日(金)神楽クラブ
- 26日(水)薬物乱用防止教室
- 28日(金)三次小・河内小との交流
- 28日(金) 諸費口座振替日

☆12月の主な行事予定☆

- 23日(火)終業式
- 24日(水)希望懇談



今年からは、全校で心を一つに祭りを盛り上げるためにがんばります。

いつからスマホをもたせるべきか？

出典：子どもの「学校に行きたくない」が、「行きたい！」に変わる本
小川涼太郎 PHP 研究所

子どもが小学校低学年でまだスマホを持たせていないという方にとっては、「いつからスマホを持たせるべきか？」というのが悩みの一つではないでしょうか。

今は、10歳から12歳頃にスマホを持つ子が増えています。しかし、脳への影響を考えると、できるだけスマホを持ち始める時期は遅くしたいところです。前頭前野が未発達だとスマホの使用時間をコントロールするのは難しく、スマホの使用時間が長くなるほど前頭前野の発達が阻害されるからです。自立に向けて必要不可欠な自己管理能力が伸びにくくなってしまいます。

子供の様子を観察し、次のような自己管理能力が育ってきていると感じたら、スマホを与える検討をしてもいいでしょう。

- ・言われなくても宿題をやっている
- ・習い事には休まず行っている
- ・ゲームや動画視聴等のルールを守ることができている
- ・お風呂や片づけなど、親に言われる前に動くことができる

これらができていれば、ある程度自己管理能力が育ってきています。スマホもルールを守りながら使うことができるのではないのでしょうか。

個人差があるため具体的に何歳からというのは難しいですが、私たちは中学生以降が望ましいと考えています。

一度スマホを手にした子どもにとっては、一時間以内に抑えるのは簡単ではないかもしれません。

「読み聞かせ」はあたたかいコミュニケーション

親子のコミュニケーションの一つに、絵本や児童書の「読み聞かせ」があります。幼児期の絵本の読み聞かせは、子どもの語彙力や聞く力、想像力を伸ばし、学力にも良い影響があるという話はよく聞きますが、効果はそれだけではありません。子どもにとって、お父さんお母さんが自分のために本を読んでくれていること、同じ物語を一緒に楽しんでいることが、大きな安心感につながります。

読み聞かせは、読み手と聞き手の間に「やりとり」があります。読み手は聞き手の反応を観察して内容を理解しているかどうかを推測し、場合によっては読むスピードや声色などを変えたりしながら読み、聞き手はそれによってまた反応します。笑ったり、ドキドキしている表情になったり、「どういうこと？」と助けを求める表情になったり、そうした反応に合わせながら読んでいくわけです。当然、読み聞かせ中は他のことができません。スマホをチェックすることも、家事をすることもなく、読み手と聞き手だけの時間になります。読み聞かせはあたたかな親子のコミュニケーションの時間なのです。

絵本の読み聞かせをしてもらった子は、心が安定して問題行動が減り、読み聞かせをした親自身も、育児ストレスが減るという研究結果も出ています。

子供が大きくなり、自分で本を読むようになると読み聞かせをしなくなる家庭は多いのですが、読み聞かせの効果は年齢に関係ありません。小学校高学年でも中学生でもコミュニケーションの一つとして続けてほしいと思います。たまには子どもが読み手になってみるのもいいかもしれません。

実は、脳の前頭前野が活性化するのは音読をしている時だそうです。親が読み聞かせをしているとき、親の前頭前野が活性化しています。読み聞かせは読み手の脳にとってもすごくいいのです。きょうだいで、上の子が下の子に読み聞かせをしてあげるのもいいかもしれませんね。